

(活動報告書様式)

団体名	元泉地域農地・水・環境保全組織委員会		
事業名	農村先導による「おらだ田んぼの子ども博士養成講座」推進事業		
助成事業区分	協働助成事業（テーマ希望型） 【テーマ：山形日産 子どもから大人まで環境にやさしい社会づくり支援事業】		
団体の 所在市町村	河北町	事業費	475,265 円
		うち助成金額	443,235 円



めだかの学校本校舎の田植え



元泉地域が、ティスカパーの農村漁村(むら)の室に

■事業の目的

めだかは、水田環境のパロメーターであることから、河北町唯一の在来めだかを11年間無農薬無肥料水田等3タイプの水田に放流し、小学生と幼稚園児を対象にした環境教育の推進支援活動

■事業内容

①対象小学校

河北町立谷地中部小学校
4～6 学年生の 20 名
河北町立北谷地小学校
3 学年 10 名
5 学年 12 名

②事業実施場所

◎河北町立谷地中部小学校生は、元泉地域の「田園環境教育専用水田」(通称:めだかの学校田)

◎河北町立北谷地小学校生は、学校の実習田

◎河北町立谷地中部小学

- ①本講座5回(5/9~11/27)
- ②内容：①本講座8回、
②特別講座4回、
③地域交流講座3回
- ③外部講師
那須郁哉先生(元小学校長・理科)
嶺田卓也先生(国立研・田んぼの草花の日本の権威者)
奥山清市先生(伊丹市昆虫館長)
- ④内部講師
奥山仁六、奥山喜男
奥山マサ子他

◎河北町立北谷地小学校

- ①本講座:5回(6/5~11/14)
- ②特別講座1回
- ③地域交流講座1回
- ④外部講師
那須先生 嶺田先生
奥山伊丹市昆虫館長

■事業成果及び今後の展望

① 事業の成果

第1、今日の子供達求められている「探求心」が着実に育まれたこと。
第2、農村・小学校・町との連携による地域の子供達への環境教育の取組は、思いのほか効果的であることが実証されたこと。
第3、これら元泉流の取組が、農水省から高い評価を得て、表彰されたこと。

②今後の展望

田園地域が有する優れた教育機能を活かした取組を全町的に広め、魅力一杯の新しい農村づくりに繋げ、本県農村の持続的発展に繋げていきたい。